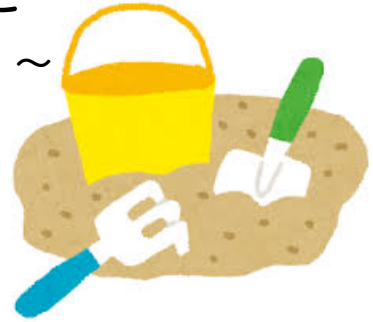




# かみさまといっしょに

～ 絵本と、わらべうたの時間 ～

2015年 3月18日



## ☆絵本・紙芝居

くつつあるけ (福音館書店) 作・絵：林明子

おでかけしようか (福音館書店) 作：大阪YMCA千里子ども図書館／絵：大塚いちお

おべんとうバス (ひさかたチャイルド) 作・絵：真珠まりこ

ごろん～紙芝居～ (童心社) 作・絵：広川沙映子

## ☆わらべた・童謡

♪ずくぼんじょ (佐賀のわらべうた)

ずくぼんじょ ずくぼんじょ

ずっきん かぶって でてこらさい

\*ずくぼんじょ・・・つくし

\*ずっきん・・・頭巾



## ♪いろいろおせわになりました

おちゃを のみに きてください

はい こんにちは

いろいろ おせわに になりました

はい さようなら



## ☆かみさまのおはなし (2月のお話 新約聖書 マタイによる福音書18章10～14)

『どれがぼくか わかる?』という絵本があります。

主人公の男の子ウィリアムは、自分がどこにかくれても「どれが ぼくか わかる?」と、おかあさんに尋ねます。おかあさんは「わかるわ」とオープンにパイを入れながらこたえます。

そこで、ウィリアムは色々な動物になって、その動物たちの中に隠れますが、おかあさんは、すぐにウィリアムを見つけてしまいます。それで、ウィリアムは、もとのウィリアムにもどって、ちょうど焼き上がったパイを食べるのです。

聖書には『100匹の羊を持っていて、そのうちのたった1匹がいなくなってしまうたら、99匹を残しても、迷い出てしまった羊を探しにでかけるでしょう』と書かれています。迷い出た1匹の羊は、探し出してもらった時に、どれほどの不安から救われ、どれほどの喜びを感じることでしょう。

ウィリアムも同じです。どこに行っても、何になっても「おかあさん」に見つけてもらえたウィリアムの喜びが、絵本の中に溢れています。道に迷ってしまっても、おかあさんが必ずみつけに来てくれるという強い信頼と愛情が描かれています。

不安な場所や状況から、探し出して、不安を取り除いてくれるのは、羊にとっては羊飼、子どもにとってはおかあさんなのですね。

でも、だれもが、佳き見守り者になれるわけでもなく、また、いつも佳き見守り者でいるのは難しいことではないでしょうか？

そんな迷えるわたしたちを探し出し、救い出し、安堵と喜びを下さるのが、かみさまなのかもしれない。

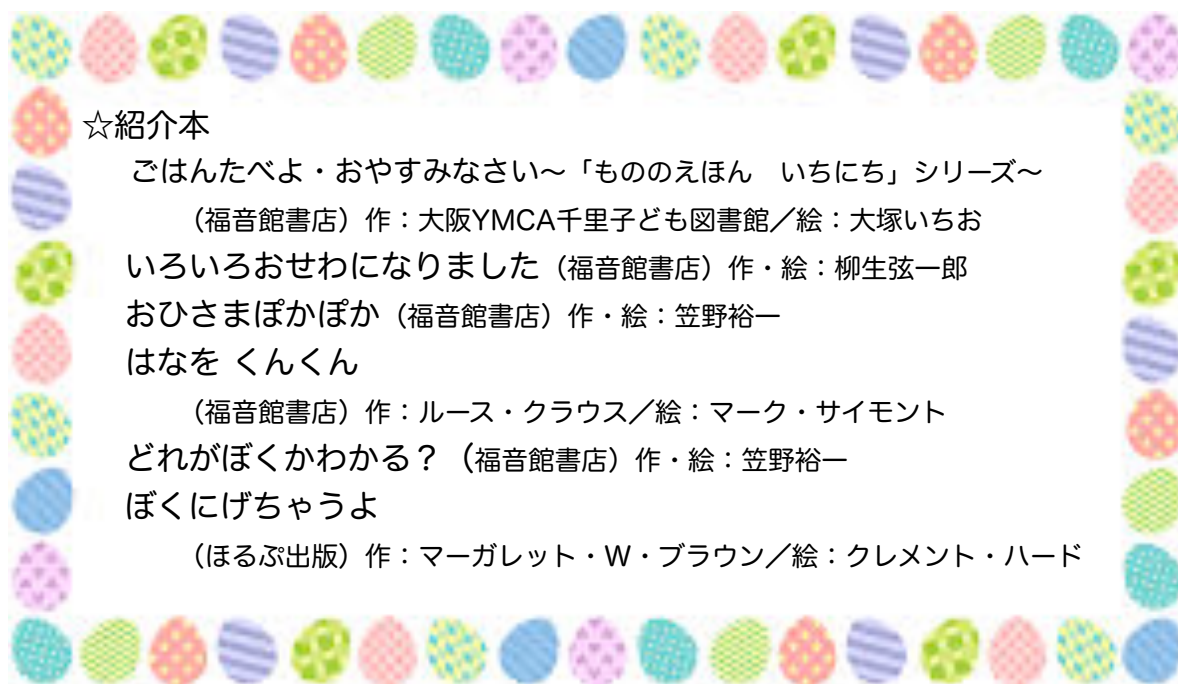
母親やかみさまから見つけてもらったという《無償の喜び》を感じることで、こんどは、わたしたちが、周囲の人たちに、その喜びを感じさせてあげられるようになったら、いいですね～



#### ☆お知らせ

今年の復活祭（イースター）は、4月5日です。

ご家族で、おミサにいらしてくださいね。



#### ☆紹介本

ごはんたべよ・おやすみなさい～「もののえほん いちにち」シリーズ～

（福音館書店）作：大阪YMCA千里子ども図書館／絵：大塚いちお

いろいろおせわになりました（福音館書店）作・絵：柳生弦一郎

おひさまぼかぼか（福音館書店）作・絵：笠野裕一

はなをくんくん

（福音館書店）作：ルース・クラウス／絵：マーク・サイモント

どれがぼくかわかる？（福音館書店）作・絵：笠野裕一

ぼくにげちゃうよ

（ほるぷ出版）作：マーガレット・W・ブラウン／絵：クレメント・ハード

4月の『かみさまといっしょに』は  
第3水曜日の15日です。

クリスト・ロア修道会  
TEL 042 (465) 8620

